



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社G S I クレオス 上場取引所 東
 コード番号 8101 URL https://www.gsi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉永 直明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小野 国広 TEL 03-5211-1802
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,098	2.7	540	△25.1	751	5.3	558	15.0
2022年3月期第1四半期	24,449	—	720	△17.7	714	△18.1	485	△14.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,342百万円 (△12.7%) 2022年3月期第1四半期 1,537百万円 (△57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	45.58	—
2022年3月期第1四半期	38.97	—

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。上記の2022年3月期第1四半期は当該会計基準等を適用した後の数値となっており、2022年3月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	59,582	25,061	42.1
2022年3月期	60,929	24,512	40.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 25,061百万円 2022年3月期 24,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	4.6	2,400	19.5	2,400	27.5	1,700	3.8	138.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	12,629,942株	2022年3月期	12,629,942株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	373,812株	2022年3月期	373,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	12,256,171株	2022年3月期1Q	12,470,485株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. (参考) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者減少などを背景に経済・社会活動の正常化により景気回復の兆しがみられ、また、世界経済においても同様に欧米州を中心に持ち直しの動きがみられたものの、ロシアのウクライナ侵攻および中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱、原材料価格の高騰や急激な為替変動などにより、再び国内外の事業環境は先行き不透明感を増してきております。

こうした中、当社におきましては、変化の著しい事業環境にいち早く対応するため、当期より開始した中期経営計画“GSI CONNECT 2024”に掲げるサステナブル事業分野を中心に、グループ連携による収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比648百万円、2.7%増収の25,098百万円となりました。売上総利益は、前年同期比70百万円、2.1%減益の3,290百万円、営業利益は、前年同期比180百万円、25.1%減益の540百万円となりましたが、経常利益は、前年同期比37百万円、5.3%増益の751百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比72百万円、15.0%増益の558百万円となりました。

②セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より報告セグメント等の変更を行っており、以下の前年同四半期連結累計期間比較については、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<ファイバー>

アジアにおけるインナー用機能糸・生地が取引が、天候不順により店頭での売れ行きが低迷し受注が減少したことから、売上高は前年同期比4.9%減収の10,937百万円となりました。利益面では、主にレッグ用糸の取引で原材料価格高騰の影響を受け、44百万円の営業損失(前年同期は125百万円の営業利益)となりました。

<アウター>

スポーツ・アウトドア向けのOEM・ODM取引や生地の輸出取引が、需要増を背景に増加したことから、売上高は前年同期比37.9%増収の3,759百万円となり、営業利益は前年同期比3,257.1%増益の243百万円となりました。

<インナー>

百貨店などを販路とする一部のファンデーションの取引が低調に推移したことなどから、売上高は前年同期比7.0%減収の2,769百万円となりました。利益面では、原材料価格高騰や急激な円安の影響を受け、69百万円の営業損失(前年同期は138百万円の営業利益)となりました。

<セミコンダクター>

前期の第2四半期連結会計期間にGSI Creos Technology (China) Co., Ltd.を連結子会社化し、加えて世界的に旺盛な半導体需要を背景に半導体関連部材の取引が好調に推移したことから、売上高は前年同期比16.3%増収の2,414百万円となり、営業利益は前年同期比50.4%増益の224百万円となりました。

<ケミカル>

機能性樹脂・フィルムの取引が国内の需要増を背景に伸長し、塗料原料の取引が海外の需要を取り込み好調に推移したことから、売上高は前年同期比16.3%増収の2,933百万円となり、営業利益は前年同期比9.9%増益の200百万円となりました。

<ホビー&ライフ>

ホビー関連の取引が、巣ごもり需要の落ち着きと中国のロックダウンに起因する需要減により減少したことから、売上高は前年同期比30.7%減収の1,214百万円となり、営業利益は前年同期比21.5%減益の165百万円となりました。

<マシナリー&イクイップメント>

複合材関連の機械および部品の受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比19.3%増収の1,068百万円となりました。利益面では、主に理化学機器の取引で急激な円安の影響を受け、15百万円の営業損失(前年同期は16百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の減少などにより、前期末比1,346百万円減少の59,582百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前期末比1,895百万円減少の34,521百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比548百万円増加の25,061百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,078	8,629
受取手形	1,649	1,679
電子記録債権	1,989	1,918
売掛金	24,703	22,149
商品及び製品	8,960	8,604
仕掛品	677	963
原材料	121	170
その他	2,960	2,691
貸倒引当金	△175	△187
流動資産合計	48,963	46,619
固定資産		
有形固定資産	3,659	3,881
無形固定資産	736	716
投資その他の資産		
投資有価証券	5,716	6,289
その他	1,853	2,075
投資その他の資産合計	7,570	8,365
固定資産合計	11,965	12,963
資産合計	60,929	59,582
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,514	16,762
短期借入金	10,919	10,691
1年内返済予定の長期借入金	90	90
未払法人税等	123	173
引当金	512	312
その他	4,078	3,994
流動負債合計	34,239	32,024
固定負債		
長期借入金	1,236	1,214
退職給付に係る負債	76	79
その他	864	1,203
固定負債合計	2,177	2,496
負債合計	36,416	34,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	857
利益剰余金	14,405	14,167
自己株式	△291	△292
株主資本合計	22,154	21,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,926	2,262
繰延ヘッジ損益	17	54
為替換算調整勘定	295	712
退職給付に係る調整累計額	119	112
その他の包括利益累計額合計	2,358	3,142
純資産合計	24,512	25,061
負債純資産合計	60,929	59,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	24,449	25,098
売上原価	21,089	21,808
売上総利益	3,360	3,290
販売費及び一般管理費	2,639	2,750
営業利益	720	540
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	45	55
為替差益	—	4
持分法による投資利益	12	167
その他	27	24
営業外収益合計	102	265
営業外費用		
支払利息	30	33
為替差損	59	—
持分法による投資損失	10	14
その他	9	6
営業外費用合計	108	53
経常利益	714	751
特別利益		
固定資産売却益	0	—
出資金売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	15	1
税金等調整前四半期純利益	700	750
法人税、住民税及び事業税	180	173
法人税等調整額	33	17
法人税等合計	214	191
四半期純利益	485	558
親会社株主に帰属する四半期純利益	485	558

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	485	558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	744	336
繰延ヘッジ損益	△7	37
為替換算調整勘定	318	417
退職給付に係る調整額	△3	△7
その他の包括利益合計	1,051	783
四半期包括利益	1,537	1,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,537	1,342

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(本社移転の件)

当社は2022年4月22日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。本店移転の概要につきましては以下のとおりであります。

1. 新本店所在地

東京都港区

2. 移転時期

2022年12月（予定）

3. 移転目的

中期経営計画“GSI CONNECT 2024”に掲げた重点施策の一つである、「人材の充実と新しい働き方の推進」の一環としてオフィス環境を整えることならびに本社機能の拡充および業務効率の改善を図るため。

4. 2023年3月期の業績に与える影響

本店移転に伴い発生する費用として175百万円を計上する見込みであります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダ クター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への売 上高	11,498	2,726	2,977	2,075	2,522	1,753	895	24,449	—	24,449
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	6	—	6	△6	—
計	11,498	2,726	2,977	2,075	2,522	1,759	895	24,456	△6	24,449
セグメント利益	125	7	138	149	182	211	16	830	△109	720

(注) 1 セグメント利益の調整額△109百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△143百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダ クター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への売上高	10,937	3,759	2,769	2,414	2,933	1,214	1,068	25,098	—	25,098
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3	—	6	0	1	6	48	65	△65	—
計	10,941	3,759	2,776	2,414	2,934	1,221	1,116	25,164	△65	25,098
セグメント利益	△44	243	△69	224	200	165	△15	704	△164	540

(注) 1 セグメント利益の調整額△164百万円には、セグメント間取引消去23百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△188百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、中期経営計画“GSI CONNECT 2024”に掲げた2つの挑戦「過去最高純利益の更新」「資本市場からの信頼度の向上」を確実なものとするため、収益力と資本効率の向上に向けて事業ポートフォリオマネジメントを徹底いたします。これにともない、報告セグメントを見直し、従来の「繊維関連事業」を「ファイバー」「アウター」「インナー」に分割し、「工業製品関連事業」を「セミコンダクター」「ケミカル」「ホビー&ライフ」「マシナリー&イクイップメント」に分割することにより、2区分から7区分のセグメントに変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法にもとづき作成したものを記載しております。

3. (参考) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	10,552	2,301	853	13,707
II 連結売上高				24,449
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	43.2	9.4	3.5	56.1

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	10,787	2,430	1,224	14,442
II 連結売上高				25,098
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	43.0	9.7	4.9	57.5

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

米州・・・・・・アメリカ、ブラジル

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。